



脱炭素社会に向けた市民会議

脱炭素社会に向け 真庭の未来を考えよう

脱炭素や再エネ推進を通じて地域に元気を

2024/R6年10月2日(水) @くらしの循環センター

本日の流れ

	開会挨拶	5分
	施設見学	30分
	市民会議について	10分
	真庭市のごみ処理について	15分
	<休憩>	
	「ごみと資源」と「脱炭素」に関する情報提供	15分
	感想やアイデア、質問の共有	25分
	本日のまとめ	10分

20時30分頃終了予定です

脱炭素市民会議 これまでの経緯

脱炭素に向けた市民会議(R4年度)

2050年の真庭市の姿

VISION

やるべきことの
具体策



第1回

8/29 (32名)
国/市の施策と
市民が考える
市の将来の姿

第2回

9/28 (26名)
アンケート結果
共有とアクション
検討

第3回

10/27 (22名)
真庭の現状と各種
対策・事例紹介

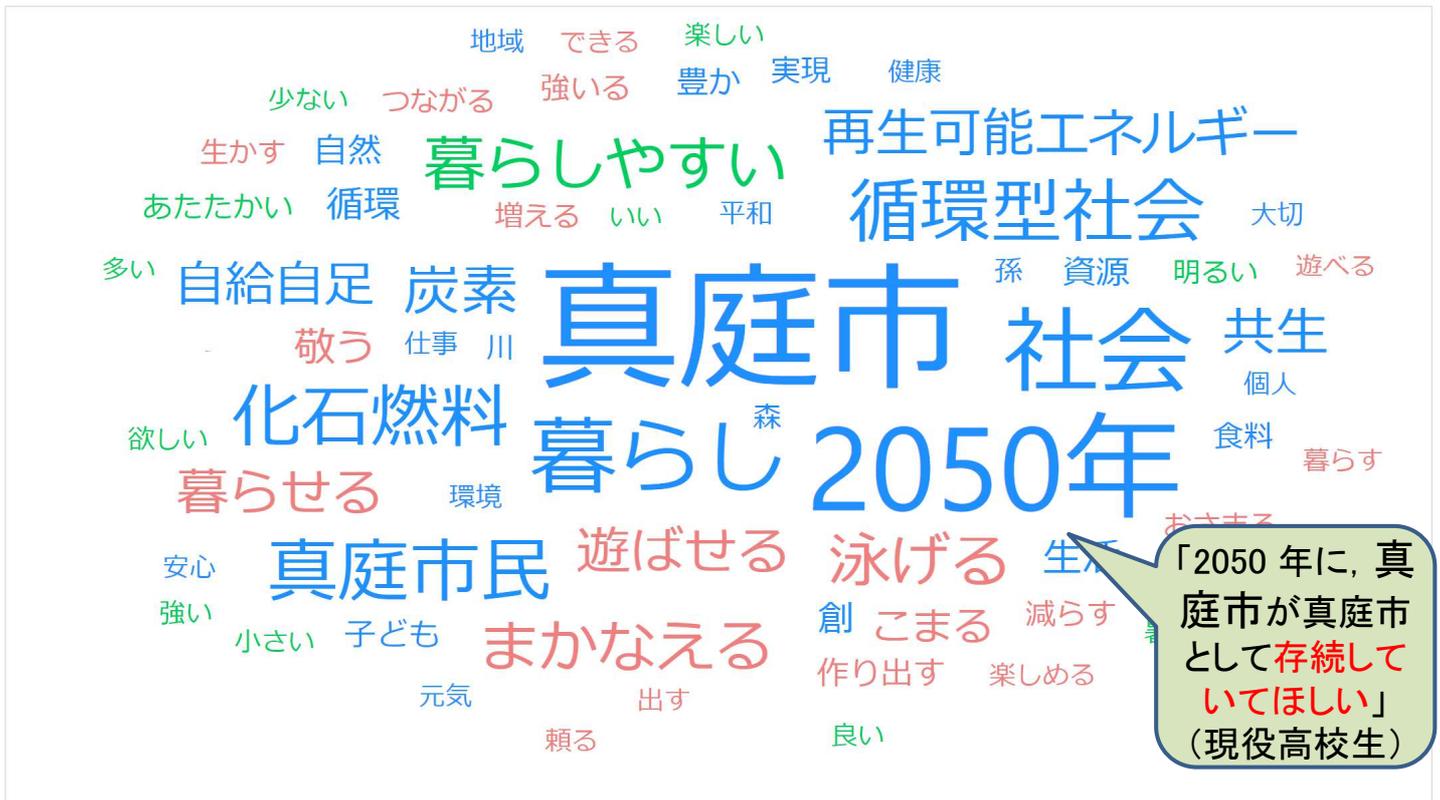
第4回

12/14 (20名)
関係主体のア
クションと連携

第5回

2/9 (19名)
市への提言
案の検討

2050年 真庭の姿

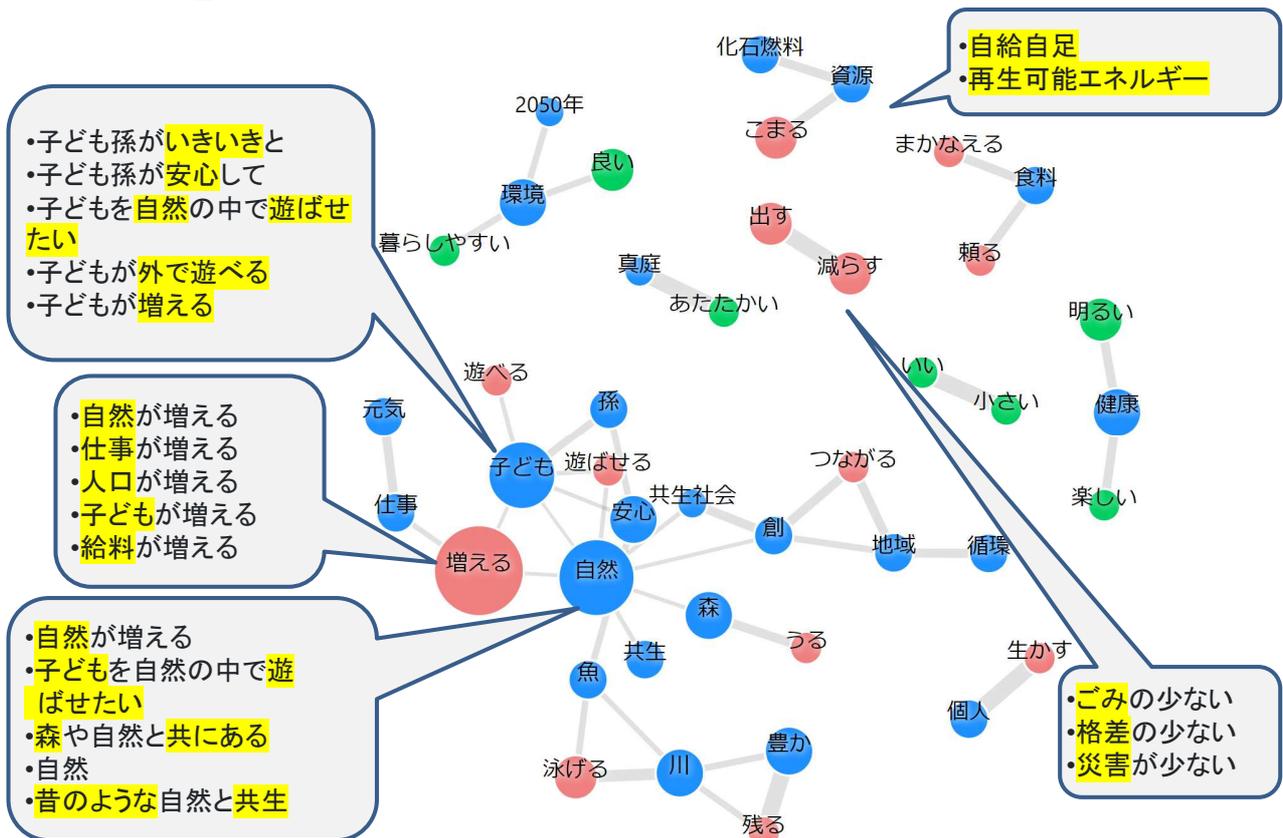


User Local AIフィードバック

スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを図示。単語の色は青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を表す

2050年 真庭の姿

各キーワードの共起ネットワーク



User Local AIフィードバック

「真庭市でできるアクション」

日々の生活でできること

- ・省エネ
- ・エコドライブ
- ・リサイクル
- ・自然を大切にする
- ・地元の物を買う

・活用されていない土地で太陽光発電
・農業/林業を副業に
・文化/伝統を大切に

個人の選択だが人生で数回あるかないか

2台目の車をEVに
家庭自家発電装置を導入

地域としてできること

- ・今のバイオマス発電を市民に還元できる仕組みに
- ・もう一つバイオマス発電をつくる
- ・1次産業の強化（林業・農業の公共性を含めて拡大）
- ・集落で電力会社、自家発電装置など（地域エネルギー）
（→その結果地域活性化、地域でEVやバスで交通難民改善、脱炭素から雇用を創出）
- ・大学を設置（教育に力をかけ、まずは残ってもらう。外に出て楽しく勉強しても、戻ってくる）

課題：情報共有、情報発信をどうしていくか

対象 内部（市民）への発信・共有 ⇔ 外部（移住者）への発信

方法 SNSなど ←若い人が発信する + 世代を超えて話し合える場

市民からの提言

2023.2.15

市民提案「真庭の2050年脱炭素社会の実現にむけて」

1. はじめに

真庭市脱炭素市民会議は、真庭市が令和4年度策定する行政計画「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」への市民の意見の反映に向け、提言を行うことを目的に集いました。

真庭市は、これまで「真庭バイオマス発電所」、「生ごみ」のように、日本でも特に先進的な取り組みにチャレンジした。令和4年4月には国から「脱炭素先行地域」に選定の「温暖化対策」について進むべき方向性の取りまとめとなりました。市民会議は、これに当たり地域に生き残ることができる形を作りながらこの歩みを更に進めるためには何「内企業」「行政」それぞれがすべきことを、改めて、今、たいとの真庭市の意向を受けて立ち上げられたものです。

市民会議は、公募および市内の将来を担う市民・市内子育て世代、市内青年経営者、市内林業・製材業若手事業者にかけた50名以上の市民・市の関係者で構成され、5回にわたり、毎回20～30名程度の参加を得て議論したことをめざし、途中回からの参加も可能とし、

パブコメを経て、2023年4月に
区域施策編として公表

真庭市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

Maniwa Civil Action

～みんなで挑む、シビれるアクション
地域をうるおす、ゼロエミッション～



2023年4月
真庭市

<https://www.city.maniwa.lg.jp/uploaded/attachments/29908.pdf>

令和5年度 開催日程

A. 続・脱炭素市民会議

第1回 10月6日(金) 18:30～

昨年度のふり返り
市の実施事業の進捗
まにわCivil Action

第2回 11月22日(水) 18:30～

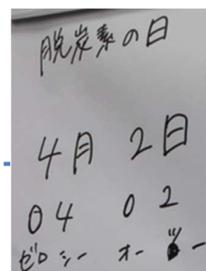
脱炭素アクション～できないメソッド～
脱炭素の日の検討

第3回: ~~3月20日(水祝)@10時～~~ ⇒ **4月2日に延期**

令和5年度のふり返りとまとめ
令和6年度に向けて
～持続的な活動にするには？

脱炭素の日

- ✓ CO2にちなんで **4月2日** の提案が複数
- ✓ 春・秋の季節ごとに設定、5月/6月、2月3日



→ 1年に1回でなくてもよい

その方が継続性にもよい

→ 市長がCOP26で事例発表をしたのが11月2日

➡ **毎月2日**を

“**真庭で環境を考える日**”にしてはどうか

- ・ご自身やご家庭、職場などでできる取り組み
- ・市のホームページやSNS、真庭いきいきテレビで発信

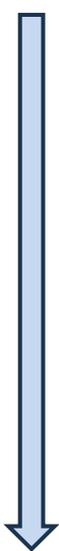
令和5年度 開催日程

今年度(R5)は 重層的に展開！

A. 続・脱炭素市民会議

第1回 10月6日(金)

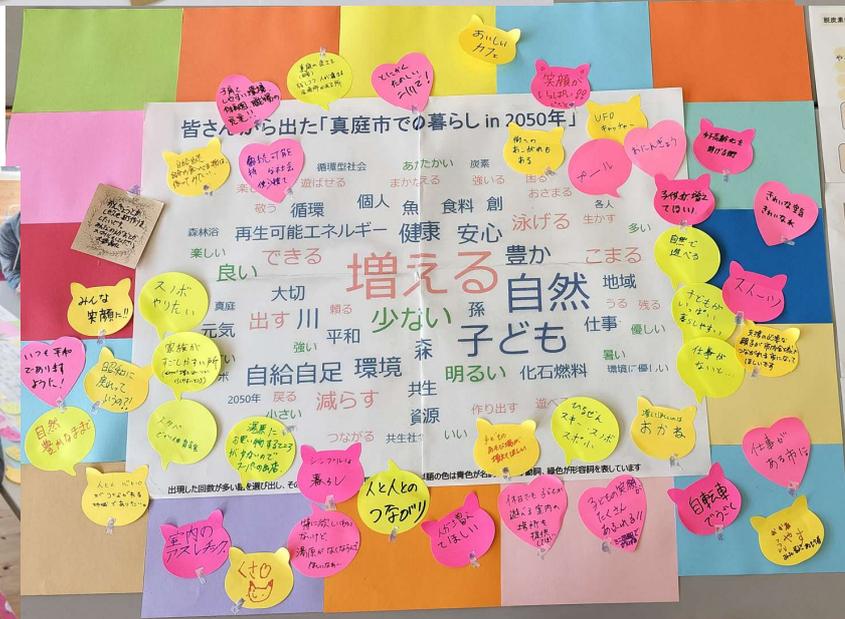
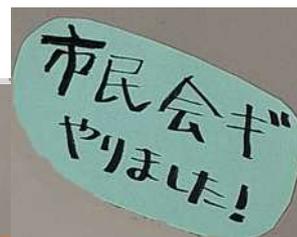
第2回 11月22日(水)



B. 輪を広げるための活動

- ・11月23日(木祝)脱炭素ブース@二川ミライエ
- ・1月9日(火)脱炭素まちづくりカレッジ
 - 真庭市役所 職員研修
 - 市民会議番外編
- ・2月3日、4日(土日)脱炭素社会を描くビジョニングワークショップ@久世・湯原

第3回: ~~3月20日(水祝)@10時～~~ ⇒ 4月2日に延期





脱炭素カードゲーム型ワークショップ
脱炭素を楽しく学ぶ



市政トピックス
TOPICS

1月9日、脱炭素を基本から学べるカードゲーム型ワークショップが開催されました。真庭市では、令和4年度から脱炭素に向けた市民会議を開催し、市民の皆さんと「真庭の未来像」を話し合っています。市民会議の番外編として行われた今回のワークショップでは、脱炭素に興味を持ってもらうことを目的に、基礎講義とカードゲーム型ワークショップを実施。参加者それぞれが企業や行政などの役になり、持っているカードに書かれている行動や事業を実行して、2030年までの温室効果ガス排出削減シミュレーションを行いました。参加者たちは、楽しみながら脱炭素について学んでいました。

実行する行動について話し合う参加者



まずは脱炭素の基礎講義



事業を実施して脱炭素



ワークショップ終了後には感想を共有

<https://www.city.maniwa.lg.jp/book/list/book101.html>

みんなで話そう

脱炭素社会への
ビジョンを描く
ワークショップ
@まにわ

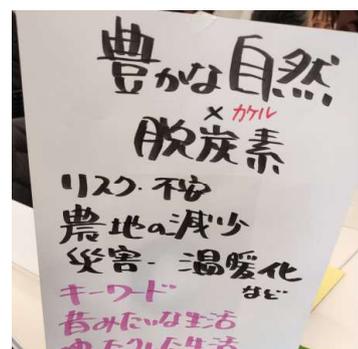
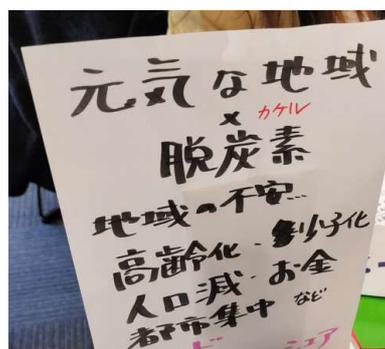
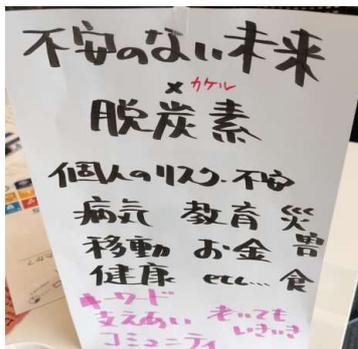
開催会場 湯原ふれあいセンター
真庭市豊栄1515

2024年2月4日
10:00~15:00

2月3日 in 久世、2月4日 in 湯原



「シェアリングでシェア(しあ)わせなまちづくり」



「脱炭素がゴールではなく幸せになることが目的だと感じた」

今年の市民会議では

✓昨年度の市民会議でいただいた提案

「具体的なテーマを設けて取り組んでみては？」

を生かして実施

第1回 10/2 「ごみと資源」

第2回 12/2 「脱炭素の取り組み」

第3回 1~2月頃「地域新電力」

✓輪を広げるために、上半期に3地域でカードゲームを実施

9/2 in 落合 10名

9/10 in 勝山 14名

9/19 in 蒜山 11名

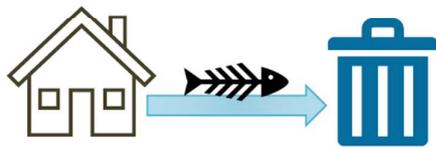


参加者同士で情報交換やカードの交換を通し「まち」を成長させ温室効果ガス削減を目指す

真庭いきいきテレビ YouTubeチャンネル<https://www.youtube.com/watch?v=xRHmuqX1yr0>

「脱炭素」と「ごみと資源」

【再エネ技術】メタン発酵



- 生ごみ、し尿、畜産系廃棄物など有機性廃棄物を原料にしてエネルギーと肥料を作ることができる
- 真庭市全域を対象とした液肥プラントは令和6年度中に開始予定
- 生ごみ分別への市民参加が、ごみ処理費の削減、CO₂の排出削減、肥料の自給率アップにもつながる！



真庭市内の実証プラント



バイオガス発電

バイオ液肥



「ごみと資源」に関するManiwa Civil Action

具体的な対策・施策・取り組み（続き）

真庭市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

Maniwa Civil Action

～みんなで進む、シビれるアクション
地域をうるおす、ゼロエミッション～

2023年4月
真庭市



3. 環境にやさしいライフスタイル・経営の実践

■ 今から取り組めること	行政	市民	事業者
ごみの減量の推進	○	○	○
↳ 食べきれぬ量の購入（量り売りの利用など）や、保存方法を工夫する		○	○
旬の食材や地元産食材を極力選択する	○	○	○
ごみの分別、リサイクル等、資源の再利用化の推進	○	○	○
↳ 特に生ごみ・資源ごみの分別の推進	○	○	○
↳ フードバンクへの寄付・てまえどり等、食品ロスの削減	○	○	○
↳ 長く使えるもの、リサイクル品、環境に配慮した製品を選ぶ	○	○	○
クールチョイス/クール・ウォームビズなどの取り組みの推進	○	○	○
↳ マイバックやマイボトルを利用し、プラスチック等の“使い捨て”を減らす	○	○	○
↳ 紙の両面利用、ペーパーレス化や包装の簡素化等に努める	○	○	○
↳ 無理のない範囲で節水・節電や過度な空調利用を控える	○	○	○
自転車や公共交通機関を利用する	○	○	○
エコドライブの実施やカーシェアリングを活用する	○	○	○

https://www.city.maniwa.lg.jp/uploaded/life/72248_263666_misc.pdf

18

脱炭素社会に向けた真庭市の廃棄物処理 ～混ぜれば「ごみ」 分ければ「資源」～

真庭市役所 生活環境部 環境課
課長 石田明義

あらためて

- ✓ 質問したいこと
 - ・ごみ処理について
 - ・生ごみ処理施設について
- ✓ 見学した感想
- ✓ こんなことしてみたら？
こんなことしてみようかな？ のアイデア

などを用紙に記入してください。

質問用紙は休憩に入る前に、提出してください。

20



脱炭素社会に向けた市民会議

ただいま休憩中

再開は 時 分です

「ごみと資源」と「脱炭素」に関する情報提供

東京都市大学 環境学部
准教授 兵法 彩

追加で記入したいことはありませんか？

- ✓ 質問したいこと
 - ・ごみ処理について
 - ・生ごみ処理施設について
- ✓ 見学した感想
- ✓ こんなことしてみたら？
こんなことしてみようかな？ のアイデア

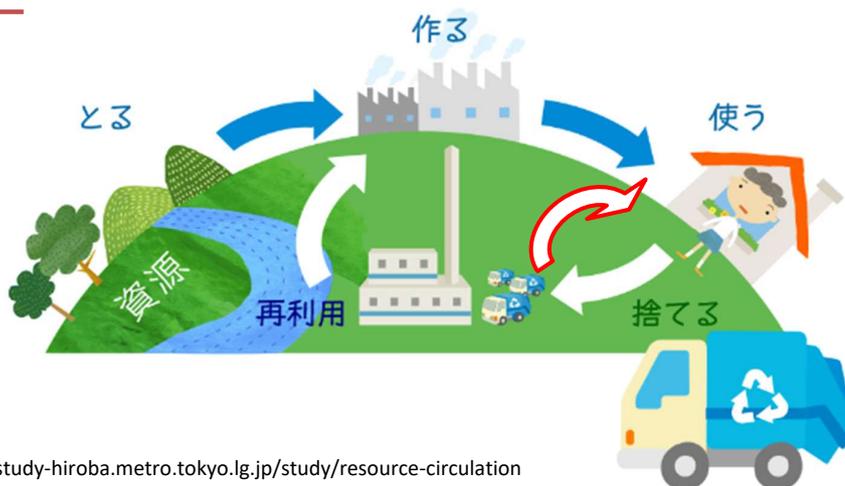
などを用紙に記入してください。

追加の質問用紙がある方は提出してください。

感想や質問、提案の共有

資源循環とは

- 製品を廃棄せず、資源として循環させる考え方
→今までごみにしていたものを資源としてくり返し使う、無駄のない社会＝「循環型社会」
→製品だけではなく、「ごみ」全般に拡大 ➡「地域資源」
- 資源循環に基づいた社会経済システムのあり方が、
サーキュラーエコノミー



目指すは地域への還元 = 脱炭素化との共通点

サーキュラービレッジ
鹿児島県大崎町
「リサイクル率日本一」



課題 焼却処理場がなく、すべて埋立による最終処分
埋立処分場の残余年数のひっ迫

施策

住民 排出者責任者の意識 独立した自治制度	企業 リサイクルセンターの 立ち上げ	行政 制度設計のサポート 研修講習会の開催
------------------------------------	---------------------------------	------------------------------------

結果 **ごみの減量・埋立処分場の延命化**
ごみの分別回収を続けた結果、
大崎町では埋立ごみの80%以上の減量化を達成

処理経費の低減・売却益金の町への還元
一人当たりのごみ処理事業が大崎町は9,364円と全国平均のおよそ2/3の額。
また分別回収されたごみは再生可能な資源として業者に売却し、およそ725万
円が売却益金として、町の事業に活用

大崎町リサイ クル未来創生 奨学金	雇用の増加	地域知名度 アップ (海外へ展開)
-------------------------	-------	-------------------------

きっかけは多少違えど
住民、企業、行政の各主体が
それぞれに取り組み、**地域に留**
まるお金を生み出し、さらに間
接的な裨益を可能にする

<https://www.osakini.org/base/>
<https://www.asahi.com/sdgs/article/15020322>
脱炭素ちがさき市民会議第3回資料より引用

真庭の資源循環拠点

第11回「グッドライフアワード」(環境省主催)
地域コミュニティー部門で環境大臣賞を受賞



引用: <https://maniwa-agurigarden.com/aboutus/>

マイボトル利用や量り売りをもっと手軽に

暮らし・働く

© 2023.06.12

松本「菜日」が水筒やタンブラー無料貸し出し 不要品を「町の共有財産」に

松本 湯水



「町のあちこちでこのステッカーが見られるようになれば」と菊地さん（左）と鮎沢さん

引用：<https://matsumoto.keizai.biz/headline/3829/>



地域共通のリユース容器をみんなでシェア
スマホで簡単に借りられ、返却は対応店舗どこでもOK。



<https://megloo.jp/>

株式会社カマン

感想とやってみようのアイデアを共有しましょう

- ✓ 質問したいこと
 - ・ごみ処理について
 - ・生ごみ処理施設について
- ✓ 見学した感想
- ✓ こんなことしてみたら？
こんなことしてみようかな？ のアイデア

質疑応答タイム

- ✓ 質問したいこと
 - ・ごみ処理について
 - ・生ごみ処理施設について
- ✓ 見学した感想
- ✓ こんなことしてみたら？
こんなことしてみようかな？ のアイデア

32

33

まとめ

今後の予定

✓ 脱炭素市民会議@真庭市

第1回 10/2 「ごみと資源」 ←本日

くらしの循環センターを見学し、ごみと資源について考える

第2回 12/2 「脱炭素の取り組み」

脱炭素の取り組み、計画策定後どこまで進んでいるの？

第3回 1~2月頃 「地域新電力」

地域新電力についての取り組みと真庭市でのあり方を
議論しましょう

✓ 輪を広げるための活動も継続していきます

ただいま計画中

ぜひご参加ください